

# 大学図書館の現状と課題

平成24年度大学図書館職員短期研修（京都会場）

平成24年10月2日 京都大学附属図書館 栃谷泰文

# 今日のお話

---

- Value of Libraries
- 大学図書館を取り巻く状況
  - 学術情報流通の電子化
  - 大学を巡る動向
- 大学・高等教育、大学図書館についての国の政策
  - 大学・高等教育についての政策
  - 「大学図書館の整備について」（審議のまとめ）
- 課題のまとめ
- 各大学図書館での目標設定に向けて

# 1. Value of Libraries

---

- 米国、英国における “Value of Libraries”
  - Association of Research Libraries 等:  
Lib-Value プロジェクト 2009.12～2012.11
  - Association of College & Research Libraries  
Value of Academic Libraries Initiative, 2009～
  - Research Libraries UK : “The value of libraries for research and researchers”, March 2011

## 2. 学術情報流通の電子化（1）

---

### ■ 電子化の今までの動き

- パッケージ型電子化(CD-ROM)からはじまる(図書館に物理形態あり)
- インターネットの普及と、ネット上の電子情報の増大、検索エンジンの進化
- 紙雑誌から電子ジャーナルへの急速な転換

### ■ 電子化のこれからの動向

- アメリカを中心とする一般向けの「電子書籍」の急速な伸長と日本での追随
- 図書館は、電子資料の本格的展開への歴史的転換点にいる

## 2. 学術情報流通の電子化（2）

---

### ■ 電子資料（ネットワーク型）の特性

- 時間と場所の制約がない。複数利用者の同時利用
- コンテンツ間のリンク。プログラムによる多様な表現
- 利用の単位が小さく（→論文単位、章単位）、スポット利用

### ■ 紙資料の「所蔵・所有」から電子資料への「アクセス」へ

- 利用者は、研究室等から直接、電子資料のサイトにアクセスして利用
- 非来館型利用（図書館には来なくなる）

### ■ 電子資料の特定企業による供給

- 紙資料とは全く異なった図書館専用供給ルートへの依存
  - 供給サイドの優位。ライセンス契約による利用
-

## 2. 学術情報流通の電子化（3）

---

- 資料の保存・承継機能の縮小（紙資料のみに）
  - 図書館には、電子資料の保存の役割がない
- 紙資料にかかる業務は縮減・比重低下へ
  - 従来の紙資料ベースの業務やサービス（受入、整理、管理、貸出、返却）は、縮減・比重の低下の方向
- 電子資料の整備、組織化、サービスが急務
  - 電子資料の普及に図書館サービスが追いついていない
- 当面、紙資料と電子資料は併存（ハイブリッド図書館）
  - 紙資料と電子資料を併用 → 利用は複雑に
  - 紙資料と電子資料の統合的利用の環境整備、アクセス・利用の支援が急務

## 3. 大学を巡る動向（1）

---

- 18歳人口の減少と大学進学率の向上（ユニバーサル化）
  - 18歳人口の減少
  - 大学進学率の向上と入学者の多様化
  - 大学の増加と競争
- 国の財政
  - ます厳しさ
- 国際化（グローバル化）の進展
  - 社会や研究だけでなく、大学教育も
- 社会の急速な情報化
  - デジタル（インターネット）・ネイティブ世代

## 3. 大学を巡る動向（2）

---

- 国立大学の法人化、公立大学の法人化の進行等
  - 法人化による国や自治体からの独立的運営
  - 国公立大学の財政的基盤は、厳しさを増す
    - 国立大学では、国からの運営費交付金は減少傾向
- 大学評価
  - 認証評価：大学機関別認証評価、専門職大学院認証評価
  - 国立大学法人評価：中期期間(目標・計画)、年度毎
- 業務の外部化(業務委託、派遣の増加)
  - 国立大学:市場化テスト
  - 全面委託のケースも



## 4. 大学・高等教育についての国の政策

---

- 我が国の高等教育の将来像（答申）平成17年1月28日  
中央教育審議会
- 学士課程教育の構築に向けて（答申）平成20年12月24日  
中央教育審議会
- 大学改革実行プラン  
～社会の変革のエンジンとなる大学づくり～  
平成24年6月 文部科学省
- 新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて  
～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～  
（答申）平成24年8月28日 中央教育審議会

## 5. 大学図書館等についての国の政策

---

- 大学図書館の整備について(審議のまとめ)  
— 変革する大学にあって求められる大学図書館像 —  
平成22年12月 科学技術・学術審議会 学術分科会  
研究環境基盤部会 学術情報基盤作業部会
  
- 学術情報の国際発信・流通力強化に向けた基盤整備の  
充実について 平成24年7月 同上
  - 科研費・研究成果公開促進費(学術定期刊行物)の改善
  - 科研費等競争的資金による研究成果のオープンアクセス化への対応
  - 機関リポジトリの活用による情報発信機能の強化について

## 6. 大学図書館の整備について(審議のまとめ)

---

### 1. 大学図書館の機能・役割及び戦略的な位置付け

#### (1) 大学図書館の基本的機能

#### (2) 環境の変化と大学図書館の課題

#### (3) 大学図書館に求められる機能・役割

##### ① 学習支援及び教育活動への直接の関与

###### ア. 学習支援

###### イ. 教育活動への直接の関与

##### ② 研究活動に即した支援と知の生産への貢献

##### ③ コレクション構築と適切なナビゲーション

##### ④ 他機関・地域等との連携及び国際対応

#### (4) 大学図書館の組織・運営体制の在り方

##### ① 各大学における戦略的な位置付けの明確化

##### ② 財政基盤の確立

##### ③ 専任職員及び臨時職員の配置並びに外部委託の在り方

## 6. 大学図書館の整備について(続き)

---

### 【つづき】

#### 2. 大学図書館職員の育成・確保

- (1) 大学図書館職員の業務内容の変化を踏まえた大学  
図書館職員の育成・確保の必要性
- (2) 大学図書館職員に求められる資質・能力等
  - ① 大学図書館職員としての専門性
  - ② 学習支援における専門性
  - ③ 教育への関与における専門性
  - ④ 研究支援における専門性
- (3) 大学図書館職員の育成・確保の在り方

# 7. 課題のまとめ（1）

---

## ■ 学術情報流通の電子化と図書館

- 電子化の流れは、歴史的に大きな画期。図書館機能の見直しが必要
- ハイブリッド図書館の機能整備
  - 電子資料と紙資料の統合的な組織化、電子資料の「見える化」
  - 電子資料と紙資料への統合的なアクセス案内、利用支援
  - 電子資料の全国的な組織化への共同した取り組み
- 電子資料の安定的・持続的な確保
  - 大学における基盤的経費の確保
  - 電子資料の図書館への供給ルートの確保と拡充（共同課題）
- 研究成果の積極的発信
  - 機関リポジトリ

## 7. 課題のまとめ（2）

---

- 学習・教育支援への積極的・能動的な取り組み
  - 学生の主体的な学習を支援
  - 学習・知的協働の「場」の提供 ex.ラーニングコモンズ
  - 図書館職員による学習支援
  - 情報リテラシーへの直接的参与
- これらを支える図書館の経営
  - 図書館の将来計画の策定→大学における戦略的位置づけ
  - 財政基盤の確立
  - 業務の中核への専任職員の確保と育成
  - 他大学・機関との連携・協力

## 8. 各大学図書館での目標設定に向けて

---

- 大学図書館は、理念・目標、将来計画をもつことが必要
- そのために
  - しっかりした状況認識をもつ
  - 国の施策、特にその考え方・方向性を良く咀嚼
  - 大学の目的、経営戦略、基本方針に沿う
  - 教職員、学生のニーズを把握
  - 図書館の自己認識と評価(強み、弱み)
  - 経営資源(人員、予算など)
  - トレンドや流行、他大学に引きずられず、考え抜く

## 9. 図書館を担う中堅職員として

---

- 職員ひとりひとりが、理念・目標、将来計画を実現する
  - 図書館と担当業務の目的・意味を掴み、考えて仕事をする
  - 所属している自らの大学、機関を知る
  - 利用者の立場・視点から考える
  - 組織の一員としてチームで仕事をする
  - 基礎的力を培う
    - 専門的・基盤的な知識、技能の習得・蓄積
    - コミュニケーションや表現する力
    - 担当業務を確実に遂行できる力
  - 課題・問題を発見する
  - 楽しく仕事をする